

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科	
情報処理 III (Information Processing III)	担当教員	今村 成明 (Imamura, Nariaki)	
	教員室	電気電子工学科棟2階 (Tel. 42-9022)	
	E-Mail	n-imamu ※最後に@kagoshima-ct.ac.jpを付けて下さい.	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 15回		
〔本科目の目標〕 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する。文法の理解を目標とする。			
〔本科目の位置付け〕 2年次の情報処理 I, II の続きである。2年次の項目の基礎部分を修得していることを前提とする。本科目は3年次後期の情報処理IV, 5年次の情報処理Vの基礎となる。			
〔学習上の留意点〕 プログラミングは、どれだけ多くのプログラムを作成したかによって、上達のスピードが変化する。そのため、本科目は例題、演習を主体となる。学生諸君には積極的に課題に取り組む姿勢をもってもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要望する。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. C言語の基礎			
1.1 データ型と四則演算	1	データ型、定数と変数、演算子、型変換(キャスト)について理解し、各種プログラムを作ることができる。	p. 148-p. 181の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.2 標準入出力	1	標準入出力関数 (printf, scanf) の書式、動作を理解し、簡単なプログラムを作ることができる。	p. 318-p. 321の内容、p. 322-325の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.3 条件分岐	2	条件分岐 (if, switch) の書式、および条件式の真偽について理解し、簡単なプログラムを作ることができる。	p. 36-p. 57の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.4 繰り返し	4	繰り返し (for文, while文, do-while文) の書式、動作を理解し、各種プログラムを作ることができる。	p. 60-p. 81の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
1.5 配列	2	配列の宣言と使用方法を理解し、配列を使った各種プログラムを作ることができる。	p. 88-p. 103の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 関数			
2.1 ユーザー定義関数	4	ユーザー定義関数の書式、動作を理解し、関数を使った各種プログラムを作ることができる。 ローカル変数とグローバル変数、auto変数とstatic変数の意味の違いを理解し、各種プログラムを作ることができる。	p. 114-p. 129, p. 142-p. 145の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
--- 前期中間試験 ---		授業項目1-1.1~2-2.1について達成度を確認する。	
3. 配列とポインタ			
3.1 ポインタ	8	アドレス、ポインタ変数の概念を理解し、応用できる。 ポインタ引数について理解し、ポインタ引数を使った各種プログラムを作ることができる。	p. 226-p. 239の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
3.2 配列とポインタ	6	配列名とポインタの関係について理解できる。 配列とアドレス、ポインタの演算について理解できる。 配列名とポインタの違いについて理解できる。 配列引数の使用方法を理解し、配列引数を使った各種プログラムを作ることができる。	p. 130-p. 139, p. 240-p. 245の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。

